

大ニ日中

版 コ ス ニ シ

道新 1688
 高野 16173
 中野 1614
 新報 161

口より太公望(糸川)を編にアヘ追加 7/10
 総柳の炭任任一(小見)北某因発生-(9張) 14/10
 本編同V. (本編 知多の島にエエ) 14/10
No. 338
 中野の書(下関)を編にアヘ 11/10
 本編同V.

35.7. 8

一、五輪陸上代表決る

ローマオリンピック兼第44回日本陸上競技選手権大会は、七月一日から三日間東京の国立競技場で行われました。
 各種目にわたり、ローマ大会標準記録突破を目ざして争われましたが、低調なトラック陣に対し、フィールド陣はハンマー投げ岡本の六四米〇二の日本新記録を筆頭に走り高とびの杉岡、女子走り中とびの伊藤、男子走り中とびの安間、そして三段とびには坂井を始め六人が標準記録にめじろおしと盛況を示し、結局代表選考会では先きに決ったマラソンの三人を始め男女二〇人が晴れの代表に決定、ローマでの健闘が期待されます。

一、カメラ風土記

知多の島々

—愛知—

東に伊良湖岬、西に知多半島の丘陵を望み、出船入船でにぎわうここは愛知県の鑿島です。僅か五キロにみえない周囲に三千五百人が住み、土地が狭いため十坪の土台に十二坪の上部構造という変わった建築が見られます。

この土地には、「若い衆やど」という昔ながらの習慣があり、結婚前の青年が今日でも組織化された集団生活をおくっています。また、娘遊びも公認され、合意による結婚は、古い形式の中に新しさを見ることができます。

一方築見島のヒヒの放し飼いは、世界でも珍らしいとされ、このように、昨今の知多の島々は、社会学と動物学の生きた教材になっているようです。

一、日本の群像

政治記者

—東京—

たつた一つしかないその椅子をめざして、大野・石井・池田の三氏が名のり出て、早や十日がたちました。ゆううつそうな顔つきで記者クラブにやってきた川島幹事長もまとも役の苦勞が身にしみているようだ。日曜日の朝、大野さんが南平台の首相公邸にやってきた。岸主流派が池田支持に廻ったという噂がある。人情家伴陸氏は、今、それをたしかめることができるだろうか。

問題の力ぎを求めて大野系の記者たちは一斉に追っかけをはじめる。次の日、大野派と石井派は帝国ホテルに落ち合い公選に共同戦線をとることになった。夕方になると記者たちは情報交換に集まり話し合います。そして取材は暗転して夜の舞台へ。

多数派工作の行方を追って大物の私邸へ夜廻りが続けられる。佐藤付きは夜更け單身世田ヶ谷の知り合いの国会議員を訪ねました。この人は佐藤派に属しているからその方の情報が頼めるかも知れません。しかし、時には相手の迷惑を考えれば書くこともできず収獲を前に、奇妙なシレンマに落ち入ることもある。

家に帰えるのは真夜中。楽しかるべきわが家も簡易宿泊所に過ぎない。今までもそうであったように、政治家記者である限り家庭サービスをすることができないだろう。

松村邸へは朝がけです。散歩中の主と話し合いながら情報を掴みます。こうして、派閥が派閥と噛み合いつづけるのだ。

730

3610

1770

1700